

2016年9月20日

<報道関係各位>

一般社団法人日本化学工業協会

日本動物実験代替法学会 第1回 日化協LR I賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：石飛 修（住友化学(株) 代表取締役会長）、以下「日化協」）は、日化協LR I^{※1}での研究者奨励（育成）の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた研究業績をあげた研究者を表彰する「日化協 LR I賞」を、日本毒性学会に続き、あらたに日本動物実験代替法学会にも設け、初の受賞者を次のとおり決定いたしました。

※1 LR I : Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動

審査については、6月17日～7月15日 日本動物実験代替法学会（J S A A E）ホームページならびに日化協LR I ホームページで公募を行い、J S A A E内学術委員会にて厳正なる審査を行っていただきました。この結果、推薦をいただいた候補者について日化協として正式に承認いたしました。



[受賞者] 大森 崇（おおもりたかし）
神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター 特命教授

[テーマ] コメットアッセイ^{※2} J a C V A M^{※3} 国際バリデーション研究^{※4}における中央値に基づく再解析の結果

[受賞理由] （主に以下2点の業績が評価されました）

- ① バリデーション研究における新規性・独創性、および試験法公定化への貢献、ガイドライン実用化へのインパクト等の評価を行った結果、本テーマにおける J a C V A Mバリデーションデータの統計解析研究はいずれにおいても高い評価を得た。
- ② 日本で実施された多くの動物実験代替法のバリデーション研究に統計学者として関与し、OECDテストガイドライン^{※5}の成立に多大なる貢献をしてきた。今後とも更なる活躍が期待できる研究者である。

※2 コメットアッセイ：個々の細胞のDNA損傷を直接検出する試験法。

※3 J a C V A M : Japanese Center for the Validation of Alternative Methods（日本動物実験代替法評価センター）、化学物質等の安全性評価における動物実験の3Rs（Replacement, Reduction and Refinement）促進と国際協調を重視した新規動物実験代替法の公定化を進めるための組織。

※4 バリデーション研究：新規試験法の公定化のため、精度、感度および特異性などを評価する研究。

※5 OECDテストガイドライン：化学物質やその混合物の安全性を評価するための国際的に合意された試験方法、法令（化審法、TSCA、REACH等）で国際的に合意された試験方法。

なお、授賞式は11月18日に九州大学（福岡市）で開催する日本動物実験代替法学会第29回大会にて執り行われます。

LR Iは、国際化学工業協会協議会（I C C A）に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLR Iを通じた研究支援を行っています。「日化協 LR I賞」は、LR Iの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年より設立いたしました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

報道関係の方：一般社団法人日本化学工業協会

広報部 松本 TEL:03-3297-2555

その他の方：

化学品管理部 水越 TEL:03-3297-2575